

## ITmedia DX Summit

# Digital Back Office Week 2021秋

[集合型オンラインセミナー (Live配信) ]  
Ver.1.0

開催 : 2021年10月25日週想定 (調整中)  
事前申込 : 約500名想定  
申込締切 : 2021年8月27日 (金)

アイティメディア株式会社  
営業本部

TEL :03-6893-2246/2247/2248

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

「ハンコ文化」「電話文化」「紙ベースの業務」「テレワーク対応」「社内のコミュニケーション不足」——このように、バックオフィスを巡る課題は山積しています。コロナ禍では急造的にこれらの課題に対応し、「守り」に終始した企業も少なくありませんでした。ただ、これからのバックオフィスに求められるものは「守り」から「攻め」へと変わりつつあります。

例えば、これまで紙で行っていた業務をデジタル化できれば、さまざまなものがデータ化／可視化され、経営判断に有益な情報が集まる「データセンター」へとバックオフィスは変貌します。また、テレワークを巡り、単に「どこでも働ける」環境を整えるのではなく、誰しもが高い生産性で働ける環境を構築することで、中小企業であっても競争力は格段に上がるはずです。

このように、単に部分最適的に「変える」のではなく、「なぜ変える必要があるのか」「どうすればもっとよくなるのか」といったことを前提に、これからのバックオフィスは変革していくべきなのです。

そこで本イベントでは、バックオフィスが変革する上で「新常識」であるテーマを「ドキュメントDX」「ワークフロー」「ワークプレイス」「コラボレーション」の4つに区切り、それぞれをどのように考え、変革していけばよいかを解説します。

## バックオフィスの主要テーマから 4つのゾーンを設定

### ドキュメントDX

帳票、電子サイン  
文書管理システム

### ワークフロー

グループウェア  
RPA、AI-OCR  
ノーコード／  
ローコード  
勤怠管理、労務管理

### ワークプレイス

デバイス  
オフィス関連  
Web会議

### コラボレーション

チャット  
ワーケーション  
採用

# イベント概要

## 開催概要

開催予定日 : 2021年10月25日週 ※調整中

イベント形式 : 集合型オンラインセミナー  
(Live配信)

事前申込 : 約500名想定

視聴者参加費 : 無料

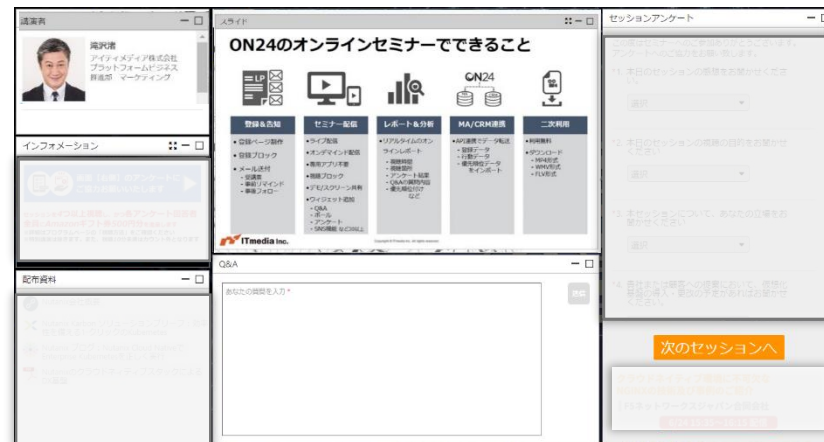
想定来場者 : 財務・会計・経理担当者の方、人事・総務・法務部門  
担当者の方、経営者、経営企画の方、  
社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、  
企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者 など

告知/集客 : ITmedia ビジネスオンラインを中心とした当社媒体

主催 : ITmedia ビジネスオンライン (アイティメディア株式会社)

運営 : アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

配信画面イメージ

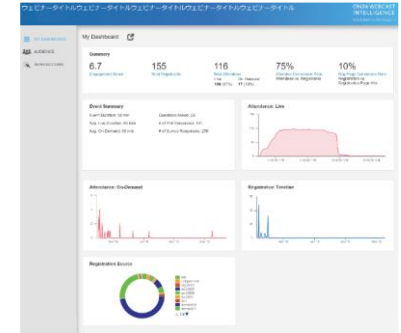
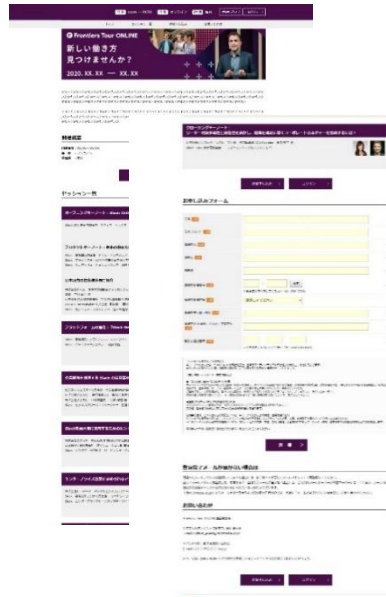


集客

申込

オンライン  
セミナー  
(Live配信)

イベント  
レポート



通常イベントと同様にアイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

# Live Webセミナー 画面イメージ

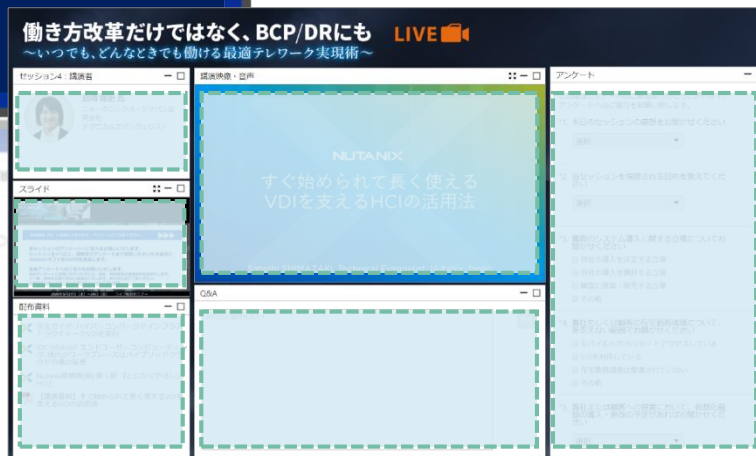
▼セミナー会場 エントランス画面 ※画面レイアウトは過去のセミナーのものです。



イベントタイトル・概要

ゾーン紹介

クリックで講演/  
セッション画面へ



セッション詳細

**① 講演者紹介**

**② 講演映像  
講演スライド**

**③ 資料ダウンロード  
・ 関連リンク**

**④ 質問送信フォーム**

**⑤ 常時表示可能なアンケート**

働き方改革だけでなく、BCP/DRにも  
～いつでも、どんなときでも働ける最適テレワーク実現術～

LIVE

セッション4: 講演者

講演映像・音声

アンケート

スピーカー

配布資料

Q&A

このアンケートはいつでも表示されます。

本日のセッションの感想をお聞かせください

選択

当セッションを視聴される目的をお聞かせください

選択

貴社のシステム導入に関する立場についてお聞かせください

⑤

① 社内の導入を検討中

② 既に導入済み

③ 導入済み

④ その他

貴社もしくは顧客の存在動向について、不安定な範囲でお聞かせください

① モバイルからリモートアクセスしている

② VDIを利用している

③ 在宅勤務環境は整備されていない

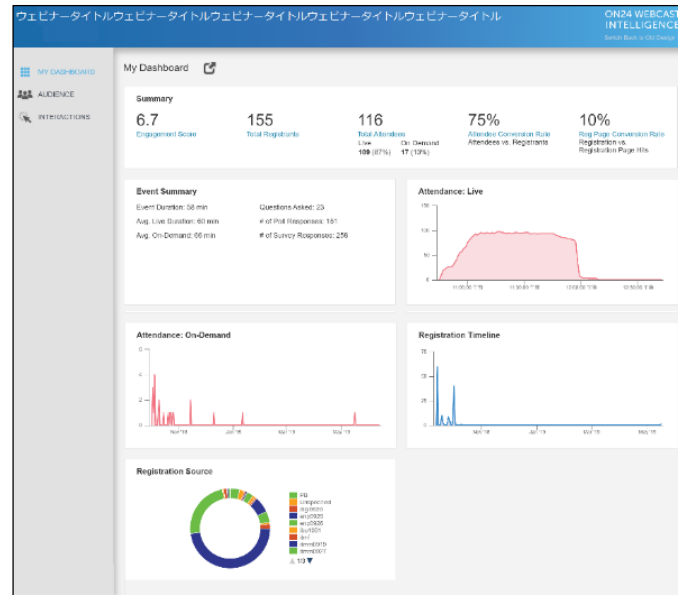
④ その他

貴社または顧客への提案において、仮想的システム導入・変更の予定があればお聞かせください

選択

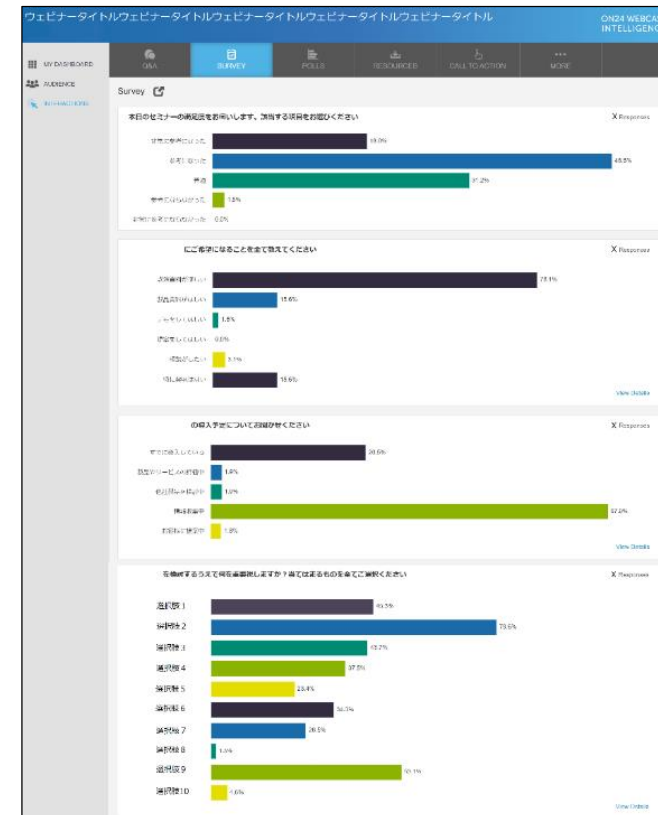
講演配信だけでなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

セッション視聴者の視聴時間、流入経路、アンケート結果などを視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます



## オンラインレポート掲載項目

- 視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、OS、ブラウザなど）
- ライブ/オンデマンドの視聴人数、平均視聴時間
- ライブの最大同時視聴数、視聴人数の推移
- Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴



# 主催者コンテンツのご紹介



## 「越境」するバックオフィス、「越境」を生むバックオフィス

「自部署と他部署」「社内と社外」「都市部と地方」——変化の激しい時代に対応し、企業が生き残っていくためには、こうした従来の垣根を越えたコラボレーションが必要になっています。

具体的には、部署内外の壁を越えたコミュニケーションや、社内／社外と区別することのない柔軟な人材活用やプロジェクト運営、そして都市部と地方部を自由に往来するような働き方の構築などが必要となってくるでしょう。

これからのバックオフィスは、単に定型業務をこなすだけでなく、このような垣根を越境したコラボレーションを誘発していく、コミュニケーション／コラボレーションの拠点となっていくべきだといえます。

加えて、バックオフィス自身も、「総務」「人事」「経理」といった従来の縦割り型な部署を乗り越えていく必要があるでしょう。

では、コラボレーションにあふれたバックオフィス、そしてコラボレーションの絶えない組織を作り出していくにはどうすればよいのでしょうか。そのための活用すべきツールやヒントをお届けします。

### 「紙」と「ハンコ」を乗り越え、経営の伴奏者になるには

これまで、バックオフィスはオフィスとの結びつきが強い部署とされてきました。

具体的には、紙ベースの業務、ハンコ業務など、どうしても出社せざるをえない業務が多く、他部門の多くがリモートワークに移行する中でも、取り残されている企業も多かったのではないのでしょうか。

一方で、先進的な企業では、ペーパーレス化を積極的に進め、そこから生まれるデータなどを駆使し、バックオフィスが一丸となり、「経営陣の伴奏者」として活躍する企業も少なくありません。

では、「紙」と「ハンコ」を乗り越え、また「総務」「人事」「経理」といった従来の垣根を乗り越え、経営陣の伴走者として活躍できるバックオフィスはどう作り上げればよいのでしょうか。そのためのヒントを解説します。

# バックオフィスが変えるワークフロー、ワークフローが変えるバックオフィス

テクノロジーの進化によって、バックオフィスの仕事は大きく変わっています。これまで目視・手作業でこなさなければいけなかった業務の多くが、今やITに置き換わりつつあることは、いうまでもありません。

会議室の予約、スケジュールの確認、帳票のチェック、勤怠管理、労務管理——こうした、バックオフィスだけでなく、全社のワークフローと不可分な業務は、それぞれがITの力で大きく変貌しているのです。

バックオフィスでは、こうした個別の業務をどうITで見直すのかを考えなければいけないだけでなく、さらに視野を広げ、全社のワークフローの改革へとつなげなければなりません。

バックオフィス業務の個別最適と、ワークフローの全体最適をどう両立し、実現していけばよいのでしょうか。そのためのヒントをお届けします。

# オフィス改革、デバイス活用でバックオフィスが切り拓く、 新たなワークプレイス

2020年、大きく浸透したテレワークですが、1年半以上続くコロナ禍をへて、その在り方も徐々に変化を見せてきています。

具体的には、コロナ禍の当初では、感染拡大防止の観点から「家で働く」という点が重視され、とにかく急場しのぎで環境を整えるために各社が奔走しました。

一方、現在では、「社外でも高い生産性を保ったまま働く」「セキュアな環境を維持する」といった新たなテーマが生まれてきています。それだけでなく、こうした働き方がより一層浸透していけば、「オフィス」の在り方も再定義する必要が出てくるはずです。

さらに、こうした「家」や「オフィス」だけでなく、より一層どこでも働ける環境を整えていく上では、サードプレイスやワーケーションの活用なども必要となってくるでしょう。

このように、数年前までは想定もしなかった「ワークプレイス」の広がりには、バックオフィスはどう対応していけばよいのでしょうか。「オフィス改革」「デバイス活用」など、新たなテーマに対応するために必要な心構えや、活用すべきITツールを紹介します。

		Day1	Day2	Day3	Day4	Day5
ゾーン	講演時間	コラボレーション	ドキュメントDX	ワークフロー	ワークプレイス	専用ゾーン
13:00   13:40	40分	基調講演1-1	基調講演2-1	基調講演3-1	基調講演4-1	基調講演5-1
13:50   14:20	30分	スポンサーセッション (1-1)	スポンサーセッション (2-1)	スポンサーセッション (3-1)	スポンサーセッション (4-1)	スポンサーセッション (5-1)
14:30   15:00	30分	スポンサーセッション (1-2)	スポンサーセッション (2-2)	スポンサーセッション (3-2)	スポンサーセッション (4-2)	スポンサーセッション (5-2)
15:10   15:50	40分	基調講演1-2	基調講演2-2	基調講演3-2	基調講演4-2 ITmedia NEWS 連動	基調講演5-2
16:00   16:30	30分	スポンサーセッション (1-3)	スポンサーセッション (2-3)	スポンサーセッション (3-3)	スペシャル インタビューセッション (4-3)	スポンサーセッション (5-3)
16:40   17:10	30分	スポンサーセッション (1-4)	スポンサーセッション (2-4)	スポンサーセッション (3-4)	スペシャル インタビューセッション (4-4)	スポンサーセッション (5-4)

メニュー	ダイヤモンドスポンサー (専用ゾーン設置：限定 2社)	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	全リスト スポンサー	ゾーンリスト スポンサー
<b>スポンサーセッション</b> セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	○ (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	—	—
<b>スポンサーアンケート</b> 講演時間中に独自のアンケートを実施していただくことが可能です。	○	○	○	—	—
<b>全申込者リストのご提供</b> セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	—	全申込者 約500名想定	—	全申込者 約500名想定	—
<b>協賛ゾーン申込者リストのご提供</b> 協賛ゾーンの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	ゾーン申込者 約200名想定	—	ゾーン申込者 約200名想定	—	ゾーン申込者 約200名想定
<b>自セッションの視聴者データのご提供および、自セッションのレポートサイトのご提供</b> 自セッションのレポートサイトをご提供します。 セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。	○	○	○	—	—
<b>事前アンケート結果</b> 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。(設問は弊社設定)	○	○	○	○	○
<b>スポンサーロゴ掲載</b> セミナー告知ページに掲載(貴社サイトへのリンク)します。	○	○	○	○	○
<b>資料配付</b> セミナー参加者にカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。 ※ご講演資料については、貴セッション内での配布が可能です	○	○	○	—	—
<b>主催アンケート結果・開催報告書</b> 主催アンケートの集計結果を後日ご提供します。(個人情報を含みません)	○	○	○	○	○
※お申込みが申込締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性があります。 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。 また、スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたしますのでご了承ください。	¥ 3,800,000- (消費税別)	¥ 2,300,000- (消費税別)	¥ 1,600,000- (消費税別)	¥ 1,300,000- (消費税別)	¥ 800,000- (消費税別)

<b>■ オプション① PR記事 (ITmedia ビジネスオンライン Special)</b> 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、タイアップ記事(貴社セッションをフォーカスしたイベントレポート記事も可)を特別価格で提供いたします。	¥ 1,000,000- (消費税別)
<b>■ オプション② セッション動画納品</b> 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。 (Live配信セッションのみ/編集なし)	¥ 50,000- (消費税別)

※価格は調整中です。変更となる可能性があります。

**お申込み締切：2021年8月27日(金)**

編集部企画のゲストセッション+貴社セッション×2枠から構成される  
貴社専用ゾーンを設置するプランです。

ポイント

① アイティメディア編集部が貴社専用ゲストセッションを企画

貴社の訴求内容に親和性の高いコンテンツの企画とゲストのアサインを  
アイティメディア編集部が担当します

② 貴社ゾーンの事前申込者リストをご提供

貴社専用ゲストセッションを含めた、貴社ゾーン全体の  
事前申込者リストをご提供いたします（想定200名想定）※2

ゾーン構成

ゲストセッション  
（編集部企画 40分間）



貴社セッション①※1  
（30分間）

貴社セッション②  
（30分間）

専用ゾーン ご提供内容

- ・ゾーンゲストセッションの企画・セッティング
- ・貴社セッション枠×2
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・ゾーン事前申込者のリスト提供（200名想定）※2
- ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴの掲載
- ・視聴者向け資料データのダウンロード配布（カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供（※個人情報なし）

ダイヤモンドスポンサー  
「専用ゾーン」設置プラン 限定2社

**ご提供価格：¥3,800,000-**  
（消費税別）

※1：貴社セッションのコンテンツについては貴社にてご用意ください。

※2：全事前申込者リスト納品をご希望の場合は  
¥1,000,000-の追加オプションにてご提供可能です。  
事前に営業担当までご相談ください。

## ITmedia NEWS編集部が、貴社に公開インタビューを行うプランです。 ITmedia NEWSに掲載するタイアップ記事もあわせて実施できます。

### ポイント

#### ①ITmedia NEWS編集部が貴社に公開インタビュー

NEWS編集部がインタビュアーになり、貴社にインタビューを行うスペシャルプランです。  
1対1のインタビューのほか、貴社やパートナーが複数名参加する対談・鼎談・パネルトークなどをモデレートすることも可能です。（編集部との事前打ち合わせ1回、事前収録）

#### ②セッションの内容がタイアップ記事としてITmedia NEWSに掲載されます

1万PV保証の「ITmedia NEWS タイアップ Special」がプラン内に含まれており、セッション内容を記事にすることができます。

### ご提供内容

- ・貴社セッション枠（NEWS編集部によるインタビュー／30分）
- ・ITmedia NEWS タイアップ special（1万PV保証タイアップ記事）
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・ゾーン事前申込者のリスト提供（200名想定）※1
- ・動画納品（二次利用可） ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴの掲載 ・視聴者向け資料データのダウンロード配布（カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供（※個人情報なし）

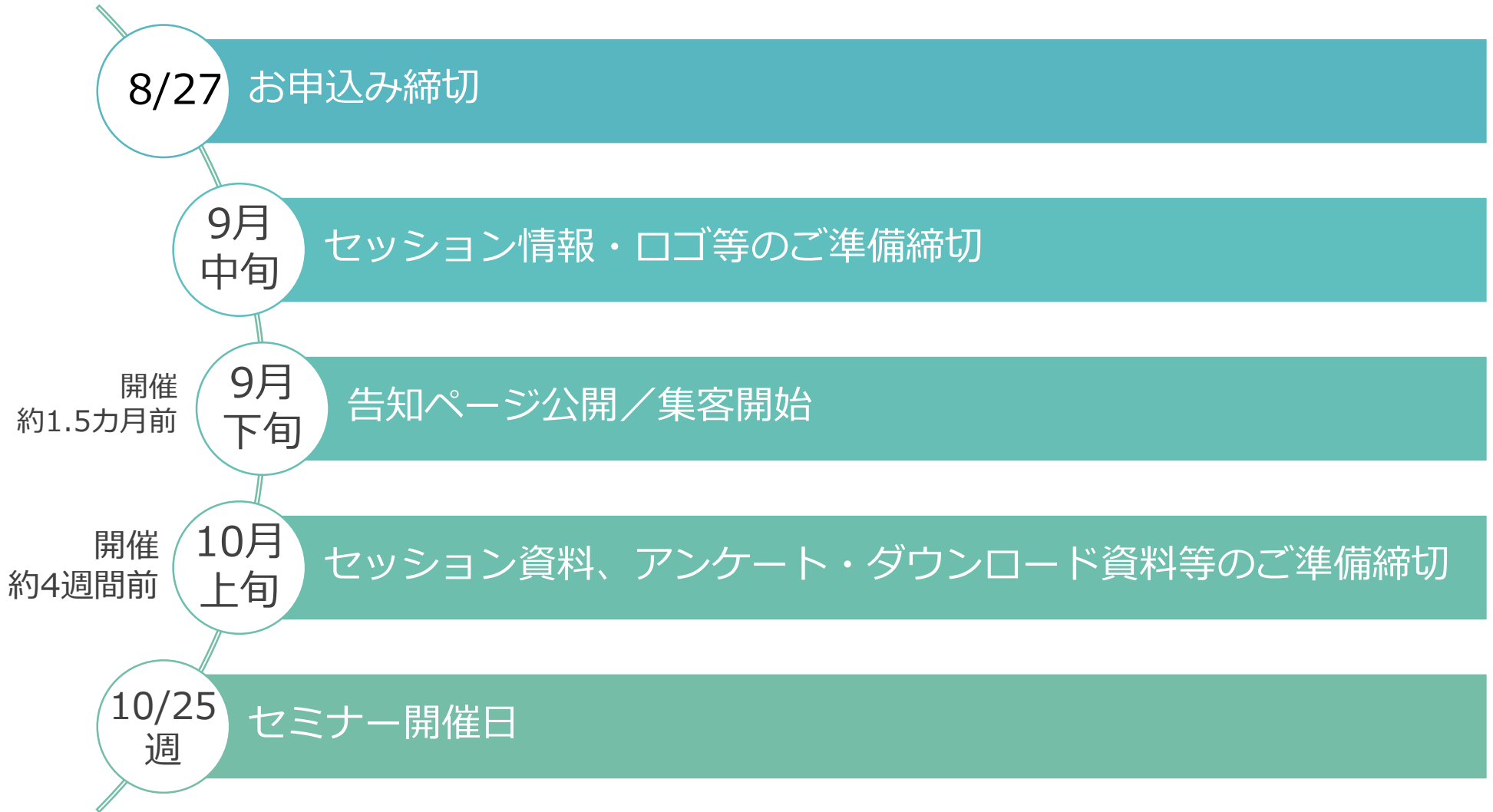
スペシャルインタビュープラン  
「ワークプレイス」ゾーン 限定2社

**ご提供価格：¥3,200,000-**  
(消費税別)

※1：全事前申込者リスト納品をご希望の場合は  
¥1,000,000-の追加オプションにてご提供可能です。  
事前に営業担当までご相談ください。



# 開催までのスケジュール（予定）



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

# オンラインセミナー ご留意事項

## 配布資料について

本セミナーでは配布資料としてカタログなどを3点まで、ダウンロードもしくは外部リンクにて配布することが可能です。

3点とは別に講演資料もこちらで配布することが可能です。

- ・資料形式：PDF、リンクURL

## キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

## 消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

## オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

### ●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### ●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ON24）における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。ON24は障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

### ●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

### ●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### ●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

# 個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

## 1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）は、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

## 2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

## 3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

## 4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

## 5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

## 6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

## 7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

## 8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

## 9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

